

2-2-4 廃棄物等

(1) 調査目的

廃棄物については、施設の稼動に伴う廃棄物の発生量及び処理・処分内容の状況を把握するため、事後調査を実施した。

(2) 調査対象

調査対象は、環境影響評価法に係る予測及び評価で対象とした施設の稼動に伴う溶融固化物（スラグ）や溶融メタル等、施設の日常的な管理事務に伴う紙類や金属等とする。

(3) 調査方法

調査方法は、廃棄物等の発生量及び処理・処分内容について定期的に調査票への記録等を行った。

(4) 調査地点

調査地点は、事業地とした。

(5) 調査期間等

調査期間は、施設の稼動が定常状態となる時期（1年間）とした。調査期間を表 2-2-4.1 に示す。

表 2-2-4.1 調査期間

調査期間	平成 18 年 6 月 16 日～平成 19 年 6 月 15 日
------	-----------------------------------

(6) 調査結果

調査結果を表 2-2-4.2～表 2-2-4.4 に示す。

表2-2 4.2 廃棄物調査（施設の稼働により発生した廃棄物）

ごみの種類	区分 ²	単位	平成18年						平成19年						年間合計 ³ (1年間ベース)	予測値 ⁴ (1年間ベース)	処理・処分方法	再資源化・適正処理 の具体的方法	
			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月					6月
溶融固化物、 溶融メタル ¹	発生量	t	206.55	528.33	474.52	555.33	406.98	640.66	612.86	655.93	391.95	444.87	432.61	595.31	267.15	6213.05	16.8(t/日) 6,132(t/年)	再資源化・適正処理 再資源化： 覆土材等として有効利用 または売却 適正処理： 最終処分場に埋立処分	
	再資源化・ 有効利用量	t	0.00	0.00	0.00	159.62	29.79	153.07	213.13	31.84	405.96	60.61	35.29	202.93	135.95	1428.19	-		再資源化・適正処理
	処分量	t	0.00	217.00	756.00	92.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1065.00	-		
溶融不適物、 飛灰固化物 ¹	発生量	t	125.17	200.05	198.02	203.26	170.54	201.29	230.44	215.56	152.98	233.89	235.06	264.93	98.53	2529.72	7.2(t/日) 2,628(t/年)	再資源化・適正処理 最終処分場に埋立処分	
	再資源化・ 有効利用量	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-		再資源化・適正処理
	処分量	t	125.17	200.05	198.02	203.26	170.54	201.29	230.44	215.56	152.98	233.89	235.06	264.93	98.53	2529.72	-		

備考

1：溶融固化物とはスラグを、溶融メタルとは磁性物及びメタルを、溶融不適物とは不燃物を、飛灰固化物とは集じん灰のことを指す。（長谷山清掃工場更新事業に係る環境影響評価書における予測値と比較するため、各項目をこの様に分類した）

2：再資源化・有効利用量については、再資源化対象物は貯留し、一部を再資源化している。

3：データの集計は平成18年6月16日～平成19年6月15日までの1年間とする。

4：長谷山清掃工場更新事業に係る環境影響評価書において発生予測値はt/日で予測しており、年間ベースで比較するためt/年に換算した。

表2-2-4.3 廃棄物調査票（施設の維持管理及び補修工事により発生した廃棄物）

ごみの種類	区分	単位	平成18年						平成19年						年間合計 (1年間ベース)	予測値 (1年間ベース)	処理・処分方法	再資源化・適正処理 の具体的方法	
			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月					6月
ろ布(バグフィルター)	発生量	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	再資源化・適正処理	-
	再資源化・有効利用量	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-		
	処分量	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-		
耐火物	発生量	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	80.00	再資源化・適正処理	-
	再資源化・有効利用量	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-		
	処分量	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-		
脱硝触媒	発生量	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	再資源化・適正処理	-
	再資源化・有効利用量	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-		
	処分量	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-		
廃油	発生量	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	10.00	再資源化・適正処理	-
	再資源化・有効利用量	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-		
	処分量	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-		
金属くず	発生量	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5.00	再資源化・適正処理	-
	再資源化・有効利用量	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-		
	処分量	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-		
その他(発生量	t																再資源化・適正処理	
	再資源化・有効利用量	t																	
	処分量	t																	
その他(発生量	t																再資源化・適正処理	
	再資源化・有効利用量	t																	
	処分量	t																	
その他(発生量	t																再資源化・適正処理	
	再資源化・有効利用量	t																	
	処分量	t																	
備考	<ul style="list-style-type: none"> データの集計は平成18年6月16日～平成19年6月15日までの1年間とする。 供用後から現在までに、施設の維持管理及び補修工事による廃棄物は発生していない。 																		

表2-2-4.4 廃棄物調査票（管理棟の管理事務により発生した廃棄物）

ごみの種類	区分	単位	平成18年						平成19年						年間合計 (1年間ベース)	予測値 (1年間ベース)	処理・処分方法	再資源化・適正処理 の具体的方法	
			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月					6月
紙類	発生量	kg	19.20	13.22	30.94	21.70	43.16	21.43	13.73	42.23	12.58	31.63	13.03	21.10	0.00	283.95	7360.00	再資源化・適正処理	再生紙として 再資源化
	再資源化・有効利用量	kg	19.20	13.22	30.94	21.70	43.16	21.43	13.73	42.23	12.58	31.63	13.03	21.10	0.00	283.95	-		
	処分量	kg	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-		
金属	発生量	kg	0.08	0.00	0.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	180.00	再資源化・適正処理	当組合施設にて 再資源化
	再資源化・有効利用量	kg	0.08	0.00	0.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	-		
	処分量	kg	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-		
ガラス類	発生量	kg	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	30.00	再資源化・適正処理	-
	再資源化・有効利用量	kg	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-		
	処分量	kg	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-		
プラスチック	発生量	kg	4.70	7.80	10.35	7.29	7.10	8.72	6.68	8.78	7.86	6.22	3.64	9.04	2.91	91.09	330.00	再資源化・適正処理	破碎処理
	再資源化・有効利用量	kg	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-		
	処分量	kg	4.70	7.80	10.35	7.29	7.10	8.72	6.68	8.78	7.86	6.22	3.64	9.04	2.91	91.09	-		
その他	発生量	kg	28.74	45.45	48.54	46.88	54.63	59.48	58.08	52.35	48.27	55.74	52.81	51.42	27.72	630.11	2060.00	再資源化・適正処理	焼却処分
	再資源化・有効利用量	kg	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-		
	処分量	kg	28.74	45.45	48.54	46.88	54.63	59.48	58.08	52.35	48.27	55.74	52.81	51.42	27.72	630.11	-		
その他（ ）	発生量	kg																再資源化・適正処理	
	再資源化・有効利用量	kg																	
	処分量	kg																	
その他（ ）	発生量	kg																再資源化・適正処理	
	再資源化・有効利用量	kg																	
	処分量	kg																	
その他（ ）	発生量	kg																再資源化・適正処理	
	再資源化・有効利用量	kg																	
	処分量	kg																	
備考																			
データの集計は平成18年6月16日～平成19年6月15日までの1年間とする。																			

(7) 評価

施設の稼働により発生する廃棄物については、予測値と同程度の発生量で推移している。再資源化及び有効利用等も順次行っており、環境影響評価時の計画どおり、環境への負荷の低減に向けての措置が講じられていると考えられる。

施設の維持管理及び補修工事により発生した廃棄物については、施設が更新して間もないことから、現時点ではまだ発生していない。

管理棟の管理事務により発生した廃棄物については、予測値よりも大幅に少ない発生量で推移している。これは、予測評価時に具体的な実施設計がなされていなかったことから予測値に不確実性が含まれていることに起因すると考えられる。また、紙類、金属、ガラス類、プラスチックすべてにおいて再資源化を行っており、環境への負荷の低減に向けての措置が講じられていると考えられる。